

妙智會

10月12日 開教記念式典

本殿大講堂（ライブ配信）

宮本法嗣先生ご指導

Vol. 142

2024. 10. 23

1/2

本日は、妙智會開教74周年、ありがとうインターナショナル設立34周年という、本当に大きな記念の日を迎えることができました。これもひとえに、先達の信者さん、そして今いらっしゃる皆さんのお陰さまで。心より感謝申し上げます。

来月のフォーラムに、代表で行かれる方もいらっしゃいますが、ぜひ全国の皆さんに参加をして頂きたいという私の思いで、折り鶴を頂いております。この折鶴は、「妙智會の会員が平和を願ったお心です」と英文で書いて、参加者の方達のお部屋に差し上げたり、ホテル内や夕食会のテーブルにお花の代わりに飾らせて頂いて、お越し頂いた方たちに喜んで頂こうと考えております。

この折鶴を通して、皆さんのお心を頂いておりますので、素晴らしいフォーラムにしたいと強く強く願っています。

また、今日は大勢の方にご参拝頂いて、本当に嬉しく思います。リモートも良いですが、こうして皆さんと会って一緒にお経をあげて、私の話を聞いて頂くことによって、功德を頂けるのです。「波動」と以前に申し上げましたが、この場で一緒にご供養をすることで、ご本尊さまや御旗のご守護尊神さまからの大きな大きな目に見えないものを頂けるのです。ここはとても大切なことです。

そうは言っても、お年を召していたり、お体の不自由な方もいらっしゃいます。そういう方には、各部の方が協力し合って、声をかけてご本部へ一緒に参拝して頂きたいと思っています。思いやりを持って、来たくても来れない方たちに手を差し伸べる努力をしてください。要するに、コミュニケーションが大切なのです。自分だけが本部に来て功德を頂くのではなく、みんなで同じ功德をも

らうのです。これが平等大慧です。他者を思い、困っている人に手を差し伸べる、これが妙智會です。そして、その精神が、ありがとうインターナショナルにもあるのです。そのことをしっかり受け止めて頂くことを願っております。

最後に、開教精神についてお話しさせていただきます。會主さまは私に「開教記念日は通過点に過ぎない」と私におっしゃってました。開教記念日を機に懺悔や決じょうをしても、それを今日だけで終わらせてしまっただけではいけません。この式典の後の、日々の修行が大切です。今日はたったの1日です。次の開教記念日までの365日、皆さんがどう修行するかということの方が大切なのです。

そして、本日は教団としての開教ですが、皆さんが教えを頂いた日が皆さんにとっての「開教」です。もっと言えば、皆さん1人ひとりが、初めて手を合わせてご供養した日、その日が皆さんにとってのもう一つの開教記念日です。感謝して新鮮な気持ちで心新たにお経を上げた方は少ないと思います。それでも良いのです。皆さん自身の開教記念日を思い出して、今日から、今から妙智會員としての修行をお願いします。

そして、皆さんが教えについた開教記念日から會主さまはずっと皆さんを見ています。救いの手を差し伸べてくださっているのです。ですが、私たちはその手を握らない。握る力がない。なぜならば、お経を上げてないからです。會主さまは「お経を上げてない信者は、私の力が及ばない」とおっしゃいました。

今日からご供養しませんか。そして會主さまの温かい手を握ってみませんか。ぜひ1人ひとりが、ご供養して、お導きをして、會主さまとしっかり手を握っていただきたい。これが私の今日の、一番言いたかったことです。皆さん、頑張ってください。